

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市民会館
指定管理者の名称	ギオン・アクティオ・ウィッツグループ
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市立市民会館条例
施設の設置目的	市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため (相模原市立市民会館条例第2条)
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地 相模原市中央区中央3-13-15 ・敷地面積 5,607.53㎡ ・延床面積 6,918.32㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階地上4階 ・主な施設 ホール(1,270席)、第1・2大会議室、第1～3中会議室、第1～6小会議室、講習室、あじさいの間、けやきの間、ひばりの間、応接室、食堂 ・改修工事 ホール棟(平成25年5月～平成26年5月休館) 会議室棟(平成25年5月～平成25年12月14日休館)
施設所管課の名称	文化振興課

2 管理実績							
項目(単位)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計(人)	368,521	70,693	274,637	294,653	288,087	294,117	293,104
利用料金合計(円)	47,823,050	6,521,734	42,113,720	38,003,967	41,699,270	48,779,071	51,130,940
ホール貸館率(%)	78.4	55.2	80.3	79.7	74.9	77.8	76.2
会議室貸館率(%)	90.7	70.6	82.8	83.5	83.8	83.7	84.4

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	ホールの平均利用率(%)
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数/利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(%)			79.0	80.0	80.0	81.0	81.0
実績値(%)	78.4	55.2	80.3	79.7	74.9	77.8	76.2
達成度(%)			101.6	99.6	93.6	96.0	94.1

指標名(単位)	自主文化事業の入場者数(人)
指標式と指標の説明	施設において、多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供することにより、文化を身近に感じる環境づくりが推進されるため、指定管理者が自主的に行う文化事業の入場者数を成果指標とする。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(人)			4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
実績値(人)	3,824		5,229	9,789	11,537	12,109	13,752
達成度(%)			130.7	238.8	274.7	281.6	312.5

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	A	成果指標の達成度については、ホールの平均利用率76.2%で達成度94.1%、自主文化事業の入場者数は13,752人で達成度312.5%である。ホールの平均利用率は目標値を下回っているが、多彩な自主文化事業を行い、入場者数が前年及び目標値を上回ったことは評価できる。
事業・業務の履行状況	A	施設の管理は計画に基づいた保守、点検を実施するなど、適正に行われている。事業の実施については、ワンコインコンサートなどの親しみやすい事業や講座事業が好評を得た。
利用者満足度の向上度	A	施設利用者アンケート結果及び事業アンケート結果に基づき、利用者の満足度を検証した。施設利用者アンケートではアンケート項目の総回答件数(1,039件)のうち98.0%が「良い」又は「普通」と回答し、達成度は108.9%であった。また、事業アンケートも総回答件数(1,361件)のうち、97.4%が「とても良い」又は「良い」と回答し、達成度108.2%であり、アンケートそれぞれ目標値90%を超えていた。
財務状況の適正性	S	平成30年度決算における収支はプラスになっており、本体の経営状況に特段の課題はみられない。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における「評価」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「」もしくは「」が付き、「」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「」もしくは「」が付き、「」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「」である。
- C: 「」と「」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「」と「」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における「3 指定管理者の団体本体の経営状況」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
- C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
- D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合

「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS・A・B・Cを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>・施設の維持管理を適切に行い、施設アンケート調査では概ね満足との回答をいただいている。ホールの利用率は目標値には達していなかったが、会議室の利用率については利用料金の改定後においても高い水準を維持した。</p> <p>・平成26年度より計画的に会議室棟のLED化を推進し省エネを実施するとともに、きめ細やかな管理運営を行い、質の高い利用者サービスを確保した上で、経費の削減を図った。</p> <p>・様々なジャンルの事業を実施して試行錯誤してきた結果、利用者ニーズをとらえ、この5年間で自主事業の入場者数は大幅に増加した。ワンコインコンサートや会議室を活用した講座事業などの事業がアンケートでも高い評価を得ており、市民が気軽に文化に触れることができる場として中心的な役割を担うようになった。</p>
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	7月18日
コメント	<p>・ホールの平均利用率はこの5年間で初年度以外は目標値に達せず、伸び悩んだことについては課題であるが、自主事業においては、地域で活動する伝統芸能の団体との共催で本市の文化を活用した事業やワンコインの親しみやすい事業の実施等で自主事業入場者数を大幅に伸ばし、市民が文化に接する機会を増やしたことが評価できる。</p> <p>・施設利用者アンケートでは清掃が行き届いていることや、イベント主催者に対し効果的な演出となるよう職員が適切な助言を行うなど、親身な対応等が高く評価されており、適正な施設管理が行われた。</p>